

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2005-204677 (P2005-204677A)  
【公開日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)  
【年通号数】公開・登録公報 2005-030  
【出願番号】特願 2004-11185 (P2004-11185)  
【国際特許分類】

**A 6 1 M 25/01 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 5 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 22 日 (2006.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

先端側に配置された線状の第 1 ワイヤと、前記第 1 ワイヤの基端側に配置され、前記第 1 ワイヤとは異なる構成材料で構成された線状の第 2 ワイヤとが層状の接合部を介して接合されたワイヤ本体を有し、前記接合部において、前記第 1 ワイヤの構成材料中の第 1 成分が基端方向に向かって減少し、前記第 2 ワイヤの構成材料中の第 2 成分が先端方向に向かって減少していることを特徴とするガイドワイヤ。

【請求項 2】

前記第 2 ワイヤは、前記第 1 ワイヤの構成材料より弾性率が高い材料で構成されている請求項 1 に記載のガイドワイヤ。

【請求項 3】

前記第 1 ワイヤおよび前記第 2 ワイヤのそれぞれの構成材料中に、共通の金属元素が含まれている請求項 1 または 2 に記載のガイドワイヤ。

【請求項 4】

前記第 1 ワイヤと前記第 2 ワイヤとの接合は、溶接によりなされている請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載のガイドワイヤ。

【請求項 5】

前記層状をなす接合部の厚さは、 $0.001 \sim 100 \mu\text{m}$  である請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のガイドワイヤ。